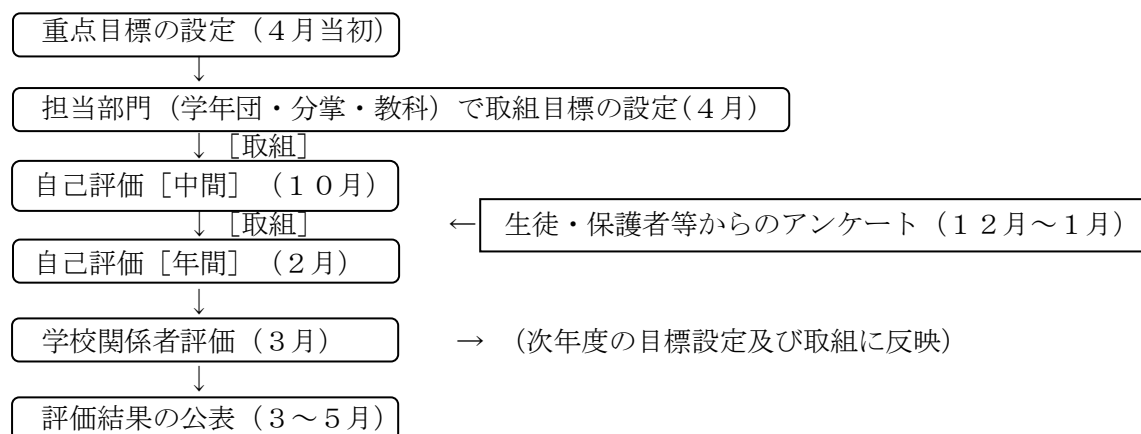


「学校評価」について

1. 「学校評価」の概要



2. 令和4年度「学校評価」の報告

(1) 重点目標と評価担当部門

評価項目	重点目標	評価担当部門
教育課程 学習指導	個々に応じた学力の定着	各教科 教務部、進路指導部
生徒指導	自主・自立の生活態度の育成と社会性の涵養	各学年団 生徒指導部、特別活動指導部
進路指導	進路指導の充実	各学年団 進路指導部、教務部
その他	各分掌の目標	各分掌

(2) 自己評価の結果

各担当部門で設定した58の具体的な取組目標の、本校職員による自己評価は次の通りです。

評価項目	A	B	C	D
教育課程・学習指導	2 (11.1%)	15 (83.3%)	1 (5.6%)	0 (0.0%)
生徒指導	0 (0.0%)	12 (92.3%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)
進路指導	3 (27.3%)	8 (72.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
その他	4 (25.0%)	12 (75.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

(A：十分達成できた、B：おおむね達成できた、C：あまり達成できなかった、D：達成できなかった)

(3) 生徒対象アンケートの結果

学校行事、学校生活、授業及び学習等についてアンケート項目を設けて実施しました。

下の表はそのうちの幾つかの項目についての比率（％）を抜粋で示したものです。

アンケート項目		A	B	C	D
学習	いつも授業を大切にしている	42.5%	48.4%	7.9%	1.2%
	日常の家庭学習はできている	14.5%	32.5%	34.1%	18.9%
生活	制服を正しく着こなしている	64.5%	33.1%	2.0%	0.4%
	学校生活の時間を守っている	63.1%	34.9%	1.2%	0.8%
	部活動、生徒会、学級活動等積極的に参加している	44.7%	36.4%	13.4%	5.5%
	健康的な生活を送るように努めている	20.9%	37.9%	29.6%	11.5%
進路	将来の目標を決め、勉強に取り組んでいる	32.5%	40.9%	21.0%	5.6%
	将来の進路実現のために努力している	32.7%	43.8%	23.5%	0.0%
全般	学校生活は楽しい	33.3%	49.8%	12.4%	4.4%

(A：当てはまる B：概ね当てはまる C：あまり当てはまらない D：当てはまらない)

(4) 保護者からのアンケートの結果

学校の取組み等についてアンケート項目を設けて実施しました。

下の表はそのうちのいくつかの項目についての比率（％）を抜粋で示したものです。

ア ン ケ ー ト 項 目	A	B	C	D
学校は生徒の学力の向上に努めている	31.1%	57.3%	11.2%	0.4%
学校はいじめ防止や服装や遅刻を含め、生活指導上の問題について適切に指導している	30.3%	62.6%	5.5%	1.7%
学校は進学・就職の情報提供を含め、適切な進路指導を行っている	45.0%	48.3%	6.3%	0.4%

(5) 学校関係者評価

①学習指導について

- ・1年生1学期の「朝の読書の時間」に、中学校の学び直しをしているのは、良い取組みだと思う。
- ・公開授業を見せてもらったが、先生方が丁寧で分かりやすい授業を心掛け、基礎学力を身に付けさせようという気持ちが伝わった。
- ・自己評価で家庭学習時間が減っているとあったが、1、2年生はこの程度でいいと思う。しかし、3年生は受験を踏まえると少ないように思う。
- ・「総合的な探究の時間」については、良い取組みである。新しい時代の学習であり、継続して欲しい。
- ・これからは、プレゼンする力、企画・提案力、プレゼン資料を作る力が必要になっている。1年生のビジネスプラン発表会を見たが、生徒は大人が思いつかないことも提案し、よくできていた。これからもそういう力を養う機会をつくって欲しい。

②生徒指導について

- ・部活動の加入率は、他校と比較しているか。
→他校との比較はできていない。中学校教員の働き方改革や、生徒数減少により種目によっては部活が成り立たなくなっていることも加入率低下の要因ではないか。（教頭回答）
- ・先生方が校門の前で挨拶をするなど、日本の良さは「型」の文化である。基本的なものは変えずに指導していくことも必要である。
- ・「すなはまフェスティバル」のボランティアのような、年齢の異なる人との交流は良い。
- ・スピーチコンテストの取組みは良かった。発表者はどうやって決まるのか。
→スピーチコンテストでは、全員がスピーチをしてクラスの代表者を決める。全員が話すのは良い。自分のことを振り返って、人前で話す経験は大事である。（教頭回答）
- ・頑張っている人の話を聞いたら、力をもらえる。何かのヒントになる。
- ・アジアから来た若者と比べると、日本の若者は、恵まれた環境で大学やお金を深く考えなくても生きていける。平和ボケみたいなのところがあり、大丈夫かなと思うこともある。
- ・今は親が黙っていても子育てができる。だから、子どもが言葉を覚えず、手が出てしまう。「ママのスマホになりたい」という絵本がある。母親が子どもを見ないで、スマホばかり見ている。

③進路指導について

- ・先輩が来て話をすると在校生が元気になると思うが、このような取組みはしていないのか。
→パナソニック株式会社の監査役や香川大学医学部教授の卒業生講話を実施した。（校長回答）
- ・授業の中で、将来のことを考える時間は設けているのか。
→総合的な探究の時間を中心に考えさせている。いろいろな学校の担当者に来てもらい進路を考えるきっかけづくりも行っている。（校長回答）
- ・「安易な進路選択をしないように…」とあるが、そのような生徒がいるのか。
→進路の実現のために自分を追い込んで受験勉強をしている生徒は少ない。（教頭回答）

④その他

- ・中学校の校長と話す機会があった。さぬき市の高校はきめ細やかに生徒を見てくれると思うが、中学生は高松志向である。津田高校に行ったらこんな良いことがあるというのを打ち出してくれると勧めやすい。進路や部活動で他の模範となるような象徴的な生徒を育成すればよい。
- ・先日、県の行革推進会議に参加した。先生方の激務や労働環境を改善しないと、良い人材が教員にならないと話題になった。